



令和4年度海洋教育・自然体験推進事業 特色ある実践事例

<浜田市内小学校 16 校の実践一覧>

学校	学年	教科等	学習・活動の名称	関係機関・団体等	頁
原井小	4	総合	浜田の海の魅力を知ろう	渚の交番 be	1
雲雀丘小	4	総合	知ろう！学ぼう！浜田の海	渚の交番 be	2
松原小	5	総合	浜田の海について知ろう	渚の交番 be	3
石見小	1	生活	秋を見つけよう	地域ボランティア	4-1
	2	生活	野菜を育てよう	各家庭	4-2
	3	総合	藻塩作り体験をしよう	浜田ライフセービングクラブ	4-3
	4	総合	川の生き物を調べよう	海洋館アクアス	4-4
	特支	自立生活	夏野菜を育てよう	図書館	4-5
美川小	4	総合	内田川の水質調査	しまね海洋館アクアス	5
周布小	3	総合	くらし発見浜田のじまん	浜田港公設市場	6
長浜小	1	生活	さつまいもを育てよう	1年生の畑	7
国府小	4	総合	こくふっこ環境調査隊 [ふるさと国府の海]	しまね海洋館アクアス、浜田市役所環境課、 まちづくりセンター渚の交番 be	8
三階小	5	総合	浜田の海や水産業について学ぼう	島根県水産技術センター 渚の交番 be	9
雲城小	5	総合	藻塩づくり体験	渚の交番 be	10
今福小	全校	体育	水辺の安全教室・ライフジャケット で浮く泳ぐ	浜田ライフセービングクラブ 渚の交番 B e	11
波佐小	全校	生活・社会 総合・園工	波佐の歴史を知ろう ～波佐一本松城（市指定史跡）に行こう～	隅田正三さん（波佐文化協会）	12
旭小	3	総合	カヌー体験&水辺の安全教室	三隅B&G海洋センター	13
弥栄小	全校	体育	スケート体験	サンビレッジ浜田	14
三隅小	4	総合	ふるさと三隅の環境について考えよう	三保まちづくりセンター	15
岡見小	5	総合	岡見の自慢を紹介しよう (源田山登山)	岡見まちづくりセンター 地域の方	16

※総合：総合的な学習の時間


※特支：特別支援学級

※自立：自立活動

<浜田市内幼稚園 3 園の実践一覧>


園名	学習・活動の名称	関係機関・団体等	頁
長浜幼稚園	熱田ビーチで遊ぼう	浜田ライフセービングクラブ	巻末
石見幼稚園	畳ヶ浦で遊ぼう	しまね海洋館アクアス交流課	巻末
美川幼稚園	カヌーを体験しよう	三隅B&G海洋センター	巻末


学校名		浜田市立原井小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
4	総合的な学習の時間	浜田の海の魅力を知ろう
めあて・目標		魚釣り体験や藻塩作り体験、海での活動を通して、浜田の海の魅力を発見する。
関係機関・団体等		渚の交番be
実施内容（期日、場所等を含む）		※写真を挿入する。
<p>○9月14日（水） 宮の浦 活動で利用する海岸を、地域ボランティアの方や保護者の方と一緒に清掃した。予想以上のごみの多さに驚くとともに、外国からの漂着物も見つけることができた。</p>		
<p>○9月27日（火） 近くの海水からできる藻塩について説明を受けた後、実際に塩作りの工程を体験した。できた藻塩は、家庭に持ち帰り、各家庭で料理に利用してもらった。</p>		
<p>○10月26日（水） 瀬戸ヶ島海岸 初めて釣りをする児童もいたが、全員が魚を釣ることができた。いろいろな種類の魚を見たり、触ったりすることで、海への興味関心が高まった。</p>		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<p>近くにある海について知っていることや知りたいこと、やってみたいことを話し合った後調べ活動を行った。調べたことをまとめ、発表する中で、実際に体験してみたいという意欲を高めた。</p>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>○調べ活動や体験活動を通して、知っているつもりでいたが知らなかったことに気付くことができた。 ○釣り体験の後、家族を誘って休日に釣りに行く児童が増えた。 ○学習したことを地域に発信する場を設定したい。</p>		

学校名		浜田市立雲雀丘小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
4	総合的な学習の時間	知ろう！学ぼう！浜田の海
めあて・目標		ふるさと浜田の海でとれる魚や海の環境課題について調べたり、実際に体験したりすることを通して、浜田の海に対する愛着や大切にしていこうという気持ちを育てる。
関係機関・団体等		渚の交番be
実施内容（期日、場所等を含む） ※写真を挿入する。		
<p>○10月7日</p> <p>渚の交番beの近くの波止場で、二人一組による魚釣り体験を行った。釣った魚の名前を教えていただき、どのような魚が身近で釣れるのか興味をもったり、釣りの楽しさをしたりし、海への親しみをもった。また、釣り場付近のゴミ拾いも行い、環境問題への課題意識を高めた。</p>		
		
<p>○2月17日</p> <p>渚の交番beで浜田の特産品として販売していることなどの話も伺いながら、手間のかかる塩づくりの工程を体感しながら藻塩作り体験を行った。</p>		
		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
子どもたちにとって身近にある海だが、経験や知識には差があり、共通の体験をすることが必要であると考えた。そこで、海の楽しさやよさについて子どもたちが実感できるよう、体験活動を取り入れることとした。		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
調べ活動や体験活動を通して、ふるさとの海よさやすばらしさに気付くことができ、「もっと浜田の海に親しみたい。」「美しい海をこれからも大切にしていきたい。」という気持ちをもつことにつながった。地域のよさを知り、自分にどのようなことができるかを考えることを今後もあらゆる観点から継続していくことによって、地域の課題について自ら関心をもつことができるようにしていきたい。		


学校名		浜田市立松原小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
5	総合的な学習	浜田の海について知ろう
めあて・目標		海岸の散策や藻塩づくりの活動を通して、浜田の魅力を知り、浜田の海への愛着を深め、ふるさとの良さに気づけるようにする。
関係機関・団体等		渚の交番be
実施内容（期日、場所等を含む）		※写真を挿入する。
日時：令和4年10月17日（月）		
<p>場所：渚の交番be（浜田市瀬戸ヶ島町）</p> <p>浜田の海を守ろうとする人たちがいることや浜田の海の魅力を知り、愛着をもてるようにすることを目的に行った。</p> <p>初めに、瀬戸ヶ島の海岸沿いを散策した。ごみ拾いをしながら歩くと、たばこやペットボトルなどポイ捨てされたものや、他国から流れ着いてきたものなど、たくさんのごみを発見した。</p> <p>藻塩づくりでは、海水とカジメから塩ができていく工程を楽しんだ。また、塩が完成するまでには時間がかかることや、熱い窯の近くで作業をすることを知ることができた。</p>		
 		
<p>海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海や自然を守るためにできることを自分事として考えるため、美しい海や捨てられたごみを自分の目で見られるように時間を設定した。</li> </ul>		
<p>児童に見られた変容、取組の成果や課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海には様々なごみが落ちていることを知った。</li> <li>・海を守るためのきまりがあることを知り、遊ぶときや釣りをするとき気を付けたいという思いをもった。</li> <li>・海を守っていきたいと行動している地域の人がいることを知り、自分たちも海を守っていきたいという気持ちをもつことができた。</li> <li>・海遊びや釣りなど、海への愛着もたせるための活動は他にもたくさんあるので、もう少し早い時期に活動を設定していく必要があると感じた。</li> </ul>		




学校名		浜田市立石見小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
1	生活科	秋を見つけよう
めあて・目標		季節の変化を感じるとともに、地域の方に親しむ。
関係機関・団体等		地域ボランティア
実施内容（期日、場所等を含む） ※写真を挿入する。		
<p>11月8日：長沢公園に行って、秋のものを集め創作を行う</p> <p>地域の方と秋遊びをする。</p>		
   		
<p>海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）</p> <p>長沢公園での学習の仕方等、事前学習を丁寧に行った。また、地域ボランティアの人と子ども達がコミュニケーションをとれるように、各グループにボランティアのみなさんについてもらい、活動を行った。地域ボランティアのみなさんのご協力のおかげで、よりねらいに迫る学習となった。</p>		
<p>児童に見られた変容、取組の成果や課題等</p> <p>地域ボランティアのみなさんと活動を共にしたことで、ボランティアのみなさんとのコミュニケーションをとりながら、多くの秋を見つけることができた。また、長沢公園での学習の仕方（きれいにして帰る）も身に付けることができていた。</p>		

学校名		浜田市立石見小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
2	生活科	野菜を育てよう
めあて・目標		野菜を育てる活動を通して、野菜の育ち方に興味をもち、それらに生命がいることや成長することに気づくとともに、親しみをもって大切にすることができるようにする。
関係機関・団体等		各家庭
実施内容（期日、場所等を含む） ※写真を挿入する。		
<p>5月中旬 「たねや なえを うえよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各家庭で野菜の苗を買いに行った。家族と相談しながら自分で育てたい苗を選んだ。</li> </ul>  <p>6月～7月 「せわをしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>野菜の育ち方や世話の仕方を調べ、毎日世話をした。成長の様子を観察日記に記録した。</li> </ul> <p>8月「みのったやさいをしゅうかくしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各家庭で育てた野菜を収穫し、調理をし、活動を夏休みにまとめた。</li> </ul>		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>苗を買いに行って選んだり、育て方を家の人から教わったりすることで、栽培意欲が高まるようにした。</li> <li>収穫した野菜を家庭で試食することで、自分が育てた野菜がおいしくできたという達成感や収穫の喜びを感じることができるようにした。</li> </ul>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜について図書館で調べたり、学校で育てている野菜を家でも育ててみたりするなど、学習したことを自分の生活にも生かそうとする姿が見られた。</li> <li>「来年は他の野菜を育ててみたい。」など、野菜の成長により興味をもつようになった。</li> </ul>		


学校名		浜田市立石見小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
3	総合的な学習の時間	藻塩作り体験をしよう
めあて・目標		藻塩作り体験を通して、浜田の海のすばらしさに気づく。
関係機関・団体等		浜田ライフセービングクラブ
実施内容（期日、場所等を含む） ※写真を挿入する。		
<p>1. 実施日          6月14日（火）          8：40～10：10 31名実施（2組29名 ふたば学級2名）          10：40～12：10 29名実施（1組29名）</p> <p>2. 参加者          3年生60名</p> <p>3. 内容          ① 浜田ライフセービングクラブの方のお話を聞く。          ② 藻塩作り体験          ・藻塩作りに必要な海藻の話聞く。          ・藻塩作り          ・パック詰め          ③ 質問（浜田の海、仕事の内容について）          ④ お礼の言葉</p>		
		
<p>海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）</p> <p>・藻塩作りをする前に、「いいけん島根県」「be渚の交番」の動画を見せたり、講師の方の仕事内容をインターネットで調べたりした。そうすることで、浜田ライフセービングクラブの方の考え方や浜田の海への興味をもてるようにした。</p>		
<p>児童に見られた変容、取組の成果や課題等</p>		
<p>藻塩作りをしたり、浜田ライフセービングクラブの方のお話を聞いたりしたことで、浜田の海への関心がさらに高まったことが、感想を見て分かった。講師の方の話聞くことで、浜田で働く人に興味をもち、地元のために働くことの良さも感じる事ができた。</p>		



学校名		浜田市立石見小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
4	総合的な学習の時間	川の生き物を調べよう
めあて・目標		今井迫川の生き物探しを通して、生物からわかる川の環境を学び、浜田地区の環境に関心をもつことができる。
関係機関・団体等		海洋館アクアス
実施内容（期日、場所等を含む） ※写真を挿入する。		
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物クイズ（海に住む生き物か川に住む生き物か）</li> <li>・図鑑を使って生き物調べ</li> </ul>	
5、6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物調査（今井迫川）</li> <li>・学習報告会へ向けてグループでまとめ作業</li> <li>・学習報告会（授業参観日に保護者へ向けて）</li> <li>・図書を使って川の環境調べ（問題点や今後の課題等）</li> <li>・エコチャレンジ（各家庭で）</li> <li>・エコたわしづくり（まちづくりセンターの方と一緒に）</li> </ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「川の環境新聞」作成、発表</li> </ul>	
		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入で生き物クイズをしたことで、川の生き物について子どもたちが興味をもつことができた。</li> <li>・実際に自分たちが住む近くの川へ行き、川の中に入って生き物をつかまえたことで、どのような生き物がいるのか実感を伴って理解することができた。</li> <li>・アクアスの方の協力により、専門的なことを教えていただくことができた。</li> </ul>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の住む近くの川は汚いと思っていた児童も、実際に川へ行き調査を行ったことで、きれいな川であるということに気づくことができた。</li> <li>・アクアスの方からお話を聞いたり、調べ学習を進めたりするなかで、きれいな川を守るために自分たちにできることを1人1人が考え、各家庭でエコチャレンジとして取り組んだ。</li> </ul>		

学校・園名		浜田市立石見小学校
学年	教科等	活動名
特支	自立活動 生活単元学習	夏野菜を育てよう
めあて・目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜づくりを通して、栽培活動の楽しさを味わう。</li> <li>野菜の販売活動を通し、積極的に他者と関わろうとする態度を養うとともに、コミュニケーション能力を高める。</li> </ul>
関係機関・団体等		図書館
活動の概要（期日、場所等を含む） ※写真があれば挿入する。		
<p>4月：準備（夏野菜調べ・苗の購入など）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>5月～：苗植え・水やり・草抜き・わき芽とり・観察</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>7月～10月：収穫・販売活動</p>		
体験活動の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館で野菜の育て方について調べたり、関連する図書の読み聞かせをしたり、関心や意欲をもって活動ができるように設定をした。</li> <li>生活科や理科の学習にも関連付け、育ち方や苗の様子を観察カードに記入した。</li> </ul>		
児童・園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>草ぬき、水やり、わき芽取りなど、育て方を調べながら世話をすることで野菜作りの大変さを知ることができた。</li> <li>収穫した野菜は、先生方に販売をしたり、ミニトマトはそのまま食べたりした。販売活動を通しお金の計算やお客さんとのやりとり、値札や看板を作る等、多教科にわたる活動となった。</li> </ul>		

学校名		浜田市立美川小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
4	総合的な学習の時間	内田川の水質調査
めあて・目標		河川の水質の指標となる生物を調べ、河川の環境を評価し、単に水質が良い・悪いではなく、多様性を重視した考え方をもてるようにする。
関係機関・団体等		しまね海洋館アクアス
実施内容（期日、場所等を含む）		※写真を挿入する。
<p>【日時】6月8日（水）13:10～15:30 【活動場所】内田川（消防倉庫の後ろ）</p> <p>島根海洋館アクアスの方から、生き物の採取の仕方について説明を受け、内田川で採取活動を行った。各自、網で生き物を採取したり、石の下に住む生き物を興味深く観察したりした。網ですくう度に、生き物が採れ、心を躍らせながら採取活動を楽しんだ。自分が見つけた生き物を友達に見せる姿や、アクアスの方に生き物の名前を聞く姿が見られ、とても意欲的に活動に取り組んだ。採った生き物は、教室に持ち帰り、どんな生き物がいるのか、内田川の状態はどうなのかなどと図鑑を使って意欲的に調べた。調べた後は、生き物を川に戻した。その中で、「イモリ」を気に入り、1学期の間に「もーちゃんといーくん」と名前を付け、4年生の仲間として一緒に過ごした。</p> <p>その後、川について事前に調べた内容と今回の学習を新聞にまとめた。できあがった新聞は廊下に掲示した。この活動を通して、ふるさとのお綺麗な川を自分達で守っていきたいという思いを高めることができた。</p>		
		
  		
<p>海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたい課題を自分達で設定し、川の生き物や周布川について事前に調べ学習を行った。</li> <li>・安全面を配慮し、川の活動に適した時期を考えて活動計画を立てた。</li> <li>・ふるさと美川の川の水質調査を行うことで、ふるさとへの愛着がもてるようにした。</li> </ul>		
<p>児童に見られた変容、取組の成果や課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物を実際に採取することで、川に住む生き物への関心を高めることができた。実際に見つけた生き物（イモリ）に名前を付け、大切に育てる姿からも川の生き物を大切に、ふるさとのお綺麗な川をきれいにしていこうという気持ちをもつことができたと思われる。</li> <li>・川で遊ぶ子どもが少なくなってきた中で、アクアスの方の協力により貴重な体験をすることができた。</li> </ul>		

学校名		浜田市立周布小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
3	総合	くらし発見浜田のじまん
めあて・目標		浜田の漁業について学習する活動を通して、ふるさとに対する誇りや大切にしようとする気持ちを育てる。
関係機関・団体等		浜田港公設市場
実施内容（期日、場所等を含む） ※写真を挿入する。		
<p>期日： 7月8日（金） 【浜田港公設市場】</p> <p>浜田市の重要産業の一つである漁業について学ぶために浜田港公設市場を見学した。浜田市市役所水産振興課の方のご協力のもと、お魚センターを見学したり、漁港の方々に話を聞いたりすることで浜田の魅力を深く理解する機会を設けた。</p>		
		
ふるさと教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<p>浜田市の名産である「のどぐろ」「カレイ」「アジ」などの魚について知ってはいるが、他の地方との違いなどを詳しく知っている児童は多くない。そこで、浜田の魅力や名産について詳しく知るために、図書資料等を活用して調べ学習を行った。個別に調べたり、情報を共有したりする中で、浜田の魅力やなぜ「どんちっち三魚」が名産であるのか、その理由などに迫ることができた。また、実際に見学を行い、漁港の方々の話を聞くことで、浜田市の魅力をもっと他の地域に伝えていこうという意識をもたせた。</p>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>調べ学習や体験学習を通して、浜田市には魅力ある漁業があるという思いをもつことができた。実際に漁業の船を見たり話を聞いたりすることで苦手だった魚が食べられるようになったり、お店で売られている魚を詳しく見たりするなど興味をもつ児童が増えた。ICTを効果的に活用することで意欲的に学習することができた。</p>		

学校名		浜田市立長浜小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
1	生活科	さつまいもを育てよう
めあて・目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの畑でさつまいもを栽培する。</li> <li>・収穫したさつまいもを調理し、パーティーをする。</li> </ul>
関係機関・団体等		1年生の畑
実施内容（期日、場所等を含む）		※写真を挿入する。
さつまいもの苗植え（5月18日）		<p>1年生の畑に畝を作ってマルチシートを張り、全員でさつまいもの苗を植えた。苗を横向きにし、葉が見えるように茎に土をかけることを確認して作業をした。苗の向きが分からずに苦戦する子もみられたが、お互いに声をかけ合いながら協力して作業をすることができた。</p> 
さつまいもの収穫（10月12日）		<p>前日までに全員で畑の回りの草を取り除く作業をしておき、当日を迎えた。掘る前には、芋を傷つけないように、周りから優しく掘っていくことを確認して作業にとりかかった。掘り始めると、宝物のようにどんどん出てくるサツマイモに、大喜びの様子で一生懸命掘っていた。思いのほか長く、深く土に埋まっているものもあり、途中で折れてしまうものもあったが、上手に作業を進めることができ、たくさんのサツマイモを収穫することができた。</p> 
さつまいもパーティーをしよう（12月9日）		<p>2学期のおたのしみ会として、収穫したサツマイモでふかし芋を作り、さつまいもパーティーを開催した。1人1本ずつサツマイモの土をきれいに洗い流した。土がこびりついていてなかなかきれいにならず苦労する姿も見られたが、自分たちが収穫した芋を大切に丁寧に洗うことができた。お互いにアドバイスをしながら頑張って作業をすることができた。皮をむいたサツマイモは輪切りにして鍋に入れ、数時間蒸かしてふかし芋が完成した。出来上がったふかし芋をみんなで味わって食べ、自分たちが育て、調理をして出来上がったサツマイモのおいしさに感激していた。この活動を通して野菜を育てることの楽しさや、調理の下ごしらえをすることの大変さ、出来上がったものをみんなで食べる喜びを感じることができた。</p>  
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
○栽培、収穫、調理の下ごしらえを自分たちですること、それぞれの活動の大変さを実感し、普段自分たちが何気なく食べているものすべてが、たくさんの人の努力によって作られていることを知るができるようにする。		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
○自分たちが収穫し調理したサツマイモのおいしさに感激している児童が多く、普段食が細い子も進んで食べる姿が見られた。また、他の野菜も育ててみたいという意見も出て、2年生での生活科の学習への意欲が高まった。		

学校名		浜田市立国府小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
4	総合的な学習	こくふっこ環境調査隊 [ふるさと国府の海]
めあて・目標		地域の川や海の水質調査を通して、水辺の環境保全に興味をもち、環境を守る活動や環境の大切さを発信する取組から、ふるさとの自然を守っていこうとする態度を育てる。
関係機関・団体等		しまね海洋館アクアス・浜田市役所環境課・まちづくりセンター・渚の交番be
実施内容（期日、場所等を含む） ※写真を挿入する。		
1 課題設定〔活動の中から問題意識をもち課題を設定する〕（25時間） ふるさとの海（曇ヶ浦）と川（下府川）をフィールドワークして、生き物が豊かに暮らす環境があるかを調査した（写真①）。その結果、きれいな水質でない生きられない生き物が多く生息しているということが分かった。しかし、海岸にたくさんのごみが打ち上げられていることに気がつく児童もたくさんいた。ここに問題意識をもち、海や川の生き物を守るために環境をよくする取組をするという学習課題を設定した。		 
2 探究的な学習〔問題についての知識を広げていく〕（15時間） ふるさとの海の環境をよくするために国府海岸のごみ拾い計画を立てた。公民館を通してビラを配り、ごみ拾いの参加者を募ったところ、地域の方が集まってくださり、たくさんのごみを集めることができた（写真②）。続いて、拾い集めたごみはどこからきたものか、環境にどのような影響を与えているかについて、市役所の環境課の方やアクアスの方から教えていただいた（写真③④）。海岸にあるごみの大半が日本のごみであること、大量のプラスチックごみが生き物の命を脅かしていることを知り、危機感を募らせる児童が多かった。		 
3 課題解決的な学習〔自分達で考えた解決の方法をやる〕（14時間） 環境を守るために、本で調べた方法や環境課の方から教えていただいた方法を実生活で生かそうと考えた。まず、活動を通して書き溜めてきたポートフォリオの中から、学んだことや活動の感想を抜き出して台本として、劇の形で保護者の方に発表した（写真⑤）。新聞にまとめた物も掲示した。ふるさとの海をみんなで守りましょうというメッセージを伝えられて嬉しかったという感想をもつ児童が多かった。		
4 学習のまとめと振り返り〔1年間の学習を通して学んだことを振り返る〕（8時間） 環境についての活動を通してどんな学びがあったかをグループごとに話し合い、環境への意識が高まっていることにお互い気付くことができた。		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
活動ごとに全体での振り返りの時間を取り、学習の方向性を児童が考えられるようにすることで、ふるさとの海の環境を自分達で守りたいという主体的な学習になった。また、地域の方と一緒に活動する時間を設定することで、地域の方々の海への思いを児童が直接感じられる場面が多く見られた。		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
1年間の活動を通して、ふるさとの海への愛着が増し、環境を守ろうという実践意欲が高まった。しかし、プラスチックに代わる素材の開発と普及にはたくさんのお金が必要なことなど、環境問題を考えていく時には、問題の背景となる社会的な知識なしでは深い学びとは成りえない。そのような知識をどのように学ばせていくかということが本実践の課題として残った。		

令和4年度海洋教育・自然体験推進事業（小学校） 特色ある実践事例

学校名		浜田市立三階小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
5	総合	浜田の海や水産業について学ぼう
単元又は授業等の めあて・目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜田市の海・水産業への興味・関心を高める。</li> <li>・水産業について、調べたり、話を聞いたり、見学したりしたことをまとめる。</li> </ul>
関係機関・団体等		島根県水産技術センター・渚の交番be
単元又は授業等の概要（期日、場所を含む） ※写真があれば挿入する。		
		
島根県水産技術センターの見学（6月22日）		海遊び体験（7月13日 渚の交番be）
<p>○浜田の海や水産業について学ぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本やインターネットを活用して、水産業について調べた。</li> <li>・島根県水産技術センターへ行き、センターの方の話を聞いたり、施設内を見学したりした。</li> <li>・浜田市の水産業について調べたことを新聞にまとめた。</li> <li>・浜田市の海洋教育プログラム（ビーチクリーン・海遊び）を体験した。</li> </ul>		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○専門的な立場の方（島根県水産技術センターの方）からの話を聞く学習を設定したこと。</li> <li>○島根県水産技術センターの施設見学を設定したこと。</li> <li>○体験を取り入れたことで、海の「楽しさ」を味わうことができるようにするとともに、「ビーチクリーン」によって、海岸清掃をし、「環境保全」の視点から海を考えられるようにした。</li> </ul>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○浜田市の水産業について本やインターネットで調べたり、話を聞いたりすることを通して、浜田市の海や水産業への興味・関心が高まった。</li> <li>○水産資源の豊かさに気づき、浜田市の海、水産業は浜田の誇りであると考えていた。また、海遊び体験を通して、浜田の海により愛着をもつことができた。</li> <li>○環境保全の視点から海を考えることで、ごみを不法投棄しないなど、自分たちの生活と海の環境保全の関わりについて考えることができた。</li> <li>○単元の実施が、学期の後半になってしまい、学んだことをまとめて、発信するための十分な時間を確保できなかった。</li> </ul>		

※事例集として、印刷物やデータで各学校や関係機関に配布する予定です。A4一枚に収めてください。


学校名		浜田市立雲城小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
5	総合的な学習の時間	藻塩づくり体験
めあて・目標		地元、浜田の港で海にかかわる仕事について知る活動を通して、ふるさと浜田に対する愛着を深めたり、ふるさとの良さに気づいたりする。
関係機関・団体等		渚の交番be
実施内容（期日、場所等を含む） ※写真を挿入する。		
<p>令和4年10月31日、コロナの影響による2度の延期の末、浜田港近くの海の交番にて5年生児童21名で活動を行った。</p> <p>金城町の児童は普段から海に行く機会の少ない児童が多いため、今回の活動を通して浜田の海の美しさや豊富な資源について知ることができた。</p> <p>活動では、初めに原料となる「かじめ」のことや、くみ上げる海水の話、昔の藻塩作りの様子についての説明を聞いた。知らないことばかりで、児童は大変興味をもって聞いていた。</p> <p>その後、グループに分かれて藻塩づくりを行った。カセットコンロ、片手の雪平鍋といった身近な道具から藻塩が作れることにまず驚いていた。</p> <p>実際の活動では、鍋に海水とかじめを入れ、ひたすら煮込む中で次第に煮汁の色が変化していく様子を興味深く見たり、途中で味見をして「うまみ」を感じたりする姿がみられた。藻塩のおいしさや手軽に作れる工程に感心する児童が多かった。また、活動の中で、ふるさとに愛情をもって活動をする人々の話や活動にふれることで、児童自身もふるさとのよさに気づき、大切にしたいという気持ちを抱くこともできた。</p> <p>出来上がった藻塩は、一部を残して自宅に持ち帰り家庭で味わった。「藻塩おにぎり作り」を家庭科の課題にしたことにより家族で藻塩を味わうこともできたようだった。</p> <p>学校用に分けた塩は、児童が小国地域の方と作った米と「おにぎり」にして全校児童に配り味わった。小国米と藻塩のおにぎりは他学年にも好評で「ふるさとの味」をPRすることができた。</p>		
		
<p>浜田の海の観察                      藻塩作り                      藻塩の袋詰め</p>		
<p>海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な活動が総合的な学習の時間に連動するように年間計画を立てた。</li> <li>・合科的な学習になるように関連づけた活動にした。</li> </ul> <p>（コロナ禍でも対応できるように、昨年度の変更後、さらに年間計画の見直しをした。）</p>		
<p>児童に見られた変容、取組の成果や課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間で学んだ他の活動と関連付けている様子が見られた。</li> <li>・浜田の魅力を感じ、もっと知りたい、調べたいという意欲をもつことができた。</li> </ul>		



学校名		浜田市立今福小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
全学年	体育	水辺の安全教室・ライフジャケットで浮く泳ぐ
めあて・目標		水辺において自分の命を守るために必要な知識・技能の習得をする。 ライフジャケットを正しく身に付け、自分で自分の身を守ろうとする活動を通して、「自助力」「危機回避能力」を養う。
関係機関・団体等		浜田ライフセービングクラブ、渚の交番 B e
実施内容（期日、場所等を含む）		※写真を挿入する。
<p>【日時】 令和4年7月15日（金） 13:50～15:20</p> <p>【場所】 今福小学校プール</p> <p>【対象】 全校児童41名</p> <p>【講師】 浜田ライフセービングクラブ 4名</p> <p>1 水の事故を未然に防ぐ安全対策の必要性について話を聞く。</p> <p>2 ライフジャケットの正しい身に付け方について学び、実際に身に付ける。</p> <p>3 ライフジャケットを身に付けて、水の中に入る。浮く、泳ぐ体験を繰り返す。</p>		
		
4 ニッパーボード（ライフセーバーが人を救助する際に使用するレスキューボード）で水上を進む体験をする。		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
海から遠い山間地域の子供達が、海水浴や川遊び、魚釣り、さらに水上スポーツなどを行うと機会が訪れたとき、自分の命を守るためのアイテムとしてライフジャケット装着が必須であることを強烈に意識させるために、プール納めの日に大プールを海と見立てて、低学年も含めた全校児童を対象として実施した。		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>奇しくも、今年度をもってプールの閉鎖が決まり、この活動が今福小学校プール使用の最後の日となった。児童にとっては、自校プールでの楽しい水泳学習のしめくくりとして、思う存分に親しむことができた。</p> <p>足のつかない水の中に入った低学年児童の中には、体がすくんでしまい指導者や教師にしがみついた様子が見られたが、ライフジャケットを身に付けてうまく浮くことを覚えると、自分一人で浮いたり泳いだりできるようになった。</p> <p>全校児童が、嬉々とした表情で水上活動をする今福小のプールは、浜田の海洋教育が目指す「海に親しむ」「海を守る」子供達で輝いていた。</p>		

学校名		浜田市立波佐小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
全	生活科 社会科 総合的な学習の時間 図画工作	波佐の歴史を知ろう ～波佐一本松城（市指定史跡）に行こう～
めあて・目標		波佐の歴史を知り、地域に誇りをもつ子供の育成
関係機関・団体等		隅田正三さん（波佐文化協会）
実施内容（期日、場所等を含む） ※写真を挿入する。		
<p>○期日及び場所 期日：令和4年 5月 9日（月） 場所：亀遊山</p> <p>○安全に十分配慮し、全校で一本松城を目指した（職員による下見実施）</p>		
 <p>急な坂道でしたが、励まし合いながら登りました。</p> <p>みんなで登り切ったぞ！入学して1か月の1年生も、上学年について登りました。堀切や礫石置き場なども見ました。</p>		
<p>海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）</p> <p>波佐小学校の向かい側にある「亀遊山」にはその昔、一本松城があった。この城は、鎌倉時代から戦国時代までの中世の山城で、防衛を中心とした守りの城郭であった。波佐文化協会会長の隅田正三さんを講師に招き、現地の案内や解説をしていただいた。堀切、切通し、礫石置き場、軍用水路跡など、説明していただかなければわからないことなどがたくさんあった。また、波佐地区は、黒金（たたら鉄）の産地であったことなども教えていただいた。低学年児童には難しい内容ではあったが、頂上まで登り。小学校を眼下に見るといふ貴重な体験ができたことは大きかった。</p>		
<p>児童に見られた変容、取組の成果や課題等</p> <p>児童・教職員全員が達成感に包まれた活動だった。高学年はこの活動に関連付けて、「波佐歴史新聞」を作成し、隅田さんにプレゼンテーションを行った。その後も、波佐の祭りや神楽について探究活動を継続して行い、全校児童や隅田さんに発表するなどの活動を行い、波佐地域に誇りをもつことができた。</p>		

学校名		浜田市立旭小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
3	総合	カヌー体験&水辺の安全教室
めあて・目標		浜田市の宝である「海」での自然体験活動を通して、海の大切さや海で遊ぶ楽しさを実感し、ふるさとへの誇りと愛着をもつことができる。
関係機関・団体等		三隅B&G海洋センター
実施内容（期日、場所等を含む）		※写真を挿入する。
<p>7月12日（火）、アクアみすみのプールで実施（三隅B&amp;G海洋センター艇庫前の海岸で実施予定であったが、荒天のため変更）。カヌー体験と水辺の安全教室を行った。</p> <p>最初に三隅B&amp;G海洋センターの方から、水辺の安全について説明を受けた。児童は、説明を聞き、水に対する怖さを感じるとともに、安全に活動しようとする意識が高まった。</p> <p>その後、カヌー体験を行った。活動中は、カヌーに慣れることで、安全に操作できるようになった。また、最初は、怖がっていた児童もいたが、ライフジャケットを着ていることで、安心して活動することができた。</p> <p>児童は、時間いっぱい熱中してカヌー体験に取り組んでいた。また、体験したいという感想が多く、普段は体験できない水辺の活動の魅力を感じていた。今回は、天候のため海での体験ができなかったため、ぜひ海上での体験をしたいと考えている。</p>		 
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 海からは離れた地域に住んでいるので、海等で扱う器具を使用し、五感で体験できるようにした。</li> <li>○ 三隅B&amp;G海洋センターの方に講師を依頼し、海の安全について指導してもらうことで、海に対する興味・関心が高まるようにした。</li> </ul>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 講師の方に水辺の安全についての話をさせていただくことで、水辺の安全への興味・関心が高まった。</li> <li>○ 初めてカヌー体験をする児童が多く、最初は怖がっていた児童もいたが、ライフジャケットの安全性を実感したり、やカヌーの操作に熱中したりすることにより、水辺での活動の楽しさを実感することができた。</li> </ul>		

学校名		浜田市立弥栄小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
全学年	体育	スケート体験
めあて・目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケートの楽しさを味わい、進んで運動に親しもうとする態度を養う。スケート用具の正しい扱い方を知り、初歩的な滑走を体験する。</li> <li>・浜田の自然や資源に親しみ、それらに進んで関わろうとする気持ちを育む。</li> </ul>
関係機関・団体等		サンビレッジ浜田（浜田市上府町）
実施内容（期日、場所等を含む） ※写真を挿入する。		
<p>1 場所・参加者 サンビレッジ浜田（浜田市上府町）で1～6年全40名の児童が参加</p> <p>2 実施日・日程 令和5年1月17日（火）10：30～14：50          通常登校をして、1～2時間目に通常授業を行い、          10：30 スクールバスで学校発→11：10 現地着          11：20～14：00 カーリング体験・昼食・スケート体験          14：10 スクールバスで現地発→14：50 学校着</p> <p>3 内容・様子          今回は、遊びとして気軽にスケートを楽しめるという感覚で体験を考えた。滑ることが上手にできれば楽しさは増すというものの、初体験の児童も多いため、安全面の配慮をしたうえで、上手にすべることをねらいにはしなかった。施設スタッフの方の入門手ほどきが適切であり、子どもたちは1時間で氷上を安定して歩き、自分なりに滑走も楽しんでた。以下、3・4年生の学級だよりである。</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <h3 style="margin: 0;">カーリング・スケート体験</h3> <p style="margin: 5px 0;">17日（火）サンビレッジ浜田で、カーリングとスケートの体験をしました。初めての子も多く、この日をとても楽しみにしていた子どもたち。教えてくださる方の話をよく聞き、安全に、とても楽しみながら活動することができました。短い時間でどんどん上達していく子どもたち、さすがでした☆「もっとやりたい!」「今度は家族と一緒にいきたい!」と言っている子もいたので、ぜひご家族でも楽しんでみてくださいね😊</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  </div> </div> </div>		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<p>年末の降雪により2学期末から、本校の児童は、校庭で雪合戦をしたり、そりですべったり、雪だるまを作ったりする機会に恵まれた。この機会をとらえ日本各地における冬季の生活文化、スポーツ文化、身近な生活（安全面も含む）についての話を子どもたちに行った。このスケート体験も、児童の「ふりかえり」を読むと、楽しく有意義な体験となったと言える。浜田市の施設での楽しい活動を通して、ふるさとへの愛着と誇りを育むよい体験を行うことができた。</p>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>児童は、ふるさとの施設で、新しい体験を行うことに喜びと意欲を見出した。子どもに喜びと意欲、更には自分なりの工夫、互いの教え合いなどをもたらす教育活動を今後とも継続したい。子どもたちは口々に楽しい体験であったと言っていた。5年生児童の「ふりかえり」：カーリングとスケートは初めてだったけど、意外とすべれて、楽しかったです。特に楽しかったのはスケートです。理由は、初めてだったけど、かなりスムーズにすべられて、ほとんど転んだりしなかったからです。スケートぐつのはき方や、スケートのすべり方について教えてもらったので、プライベートでもまた行きたいと思いました。</p>		

学校名		浜田市立三隅小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
4	総合的な学習の時間	ふるさと三隅の環境について考えよう
めあて・目標		自分たちのふるさと三隅の環境について調べたり，環境保全にかかわる人々と体験的な活動をしたりすることを通して，地域の環境やそれに関わる人々の願い，思いにふれ，体験活動などから課題を見出し，解決に必要な情報を収集し，目的に応じて比較・分類・関連付けて考える力や相手意識・目的意識を明確にして表現する力を育てるとともに，人々に関わったり，暮らしやすい環境について考えたりしようとする態度を育てる。
関係機関・団体等		三保まちづくりセンター
実施内容（期日、場所等を含む） ※写真を挿入する。		
1. 田ノ浦海岸へ行き，海岸の様子を観察する。（7月）		
2. 海岸の漂着ごみについて調査する。（7月）		
		
3. 海岸の清掃活動をする。（11月）		
		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<p>○子どもたちの気づきが活動につながるように，まず，ふるさと三隅の海岸探検ということで出かけた。そこから，海岸には漂着したごみがたくさんあることに気づかせ，さらに，いろいろな所からごみが漂着していることに気づかせた。</p> <p>○地域の方が，日頃から海岸清掃の活動に取り組んでいることを知らせ，みんなで地域の自然を大切にしようとする心情を培うことができた。</p>		
児童に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>○漂着ごみが自分たちの出したものだけでなく，外国から来たものもあることを知り，調査活動への意欲が高まると共に，どうすればごみを減らすことができるのかという課題に対しても，国際的な視野をもって考えることができていた。</p> <p>○子どもたちの考えた取組等を，実際に発信する活動が十分に行うことができなかった。保護者や地域のみならず，HP等を活用した発信活動を行っていきたい。</p>		

学校名		浜田市立岡見小学校
学年	教科等	学習・活動の名称
5	総合的な学習の時間	岡見の自慢を紹介しよう（源田山登山）
めあて・目標		地域の自慢である源田山に登り、自然に親しむとともに、山頂から地域の海を眺めたり、地域にまつわる話を聞いたりすることで、地域の自然のすばらしさに気づき、地域を愛する気持ちを育てる。
関係機関・団体等		岡見まちづくりセンター 地域の方
実施内容（期日，場所等を含む） ※写真を挿入する。		
<p>期日：令和4年11月2日（木）</p> <p>学校発→西の谷集会所（はじめの会）→皇山山頂→縦走→源田山山頂→西の谷集会所（終りの会）→学校着</p> <p>・それぞれの山頂から学校を眺めたり、伝説に出てくる夫婦岩に実際に登ってみたいを通し、名前を知っているだけだった山を体感した。</p> <p>（事前） 「岡見の自慢（ひと・もの・こと）について調べよう」 地域の人にインタビュー・質問</p> <p>（事後） 学校に帰った後、自分が気に入ったポイントやおすすめポイントを地図に落とし込み、オリジナルの源田山の地図を作った。</p>		
入山	夫婦岩	オリジナル地図
		
皇山山頂		
		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くにある山としてしか知らない源田山を、「岡見の自慢」にするために、まちづくりセンターの人に協力してもらい、質問をする時間を作ったこと。</li> <li>・登って終わりにするのではなく、登ったことのない人が登ってみようと思ってもらえるような活動として「オリジナル地図」を作る活動を行ったこと。また、まちづくりセンターに掲示し、学んだ成果を還元できたこと。</li> </ul>		
児童に見られた変容，取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は怖がっていた児童も山歩きに慣れるにつれて、楽しく登ることができるようになっていた。また、ロープを使用して坂を下りるような場面もあったが、声を掛けたり、手をつないで協力し合ったりして活動する姿が見られた。</li> <li>・まとめの「オリジナル地図」を作る活動をしたときに、そのポイントが人から聞いたものではなく、実感を伴っているものとなっていた。</li> <li>・本などの資料がほとんどなく、体験の事前活動や事後活動でさらに深めるということではできなかった。</li> </ul>		





令和 4 年度 海洋教育・自然体験推進事業

浜田市内 幼稚園（3 園）

特色ある実践事例



浜田市教育委員会 学校教育課

幼稚園名	浜田市立長浜幼稚園	
対象	学び・活動の名称	
全園児	熱田ビーチで遊ぼう	
めあて・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な海岸のゴミを拾うことで自然を大切にしようという気持ちをもつ。</li> <li>・海辺での遊びや水上バイクの乗船体験を楽しむ。</li> </ul>	
関係機関・団体等	浜田ライフセービングクラブ	
活動の概要（期日、場所等を含む） ※写真を挿入する。		
期 日	令和4年7月1日（金） 9：30～11：00	
場 所	熱田海岸	
内 容	<p>9：30～ 熱田海岸のゴミ拾いをする。</p> <p>9：40～ 集合する。</p> <p>          始めの挨拶</p> <p>          浜田ライフセービングの方の紹介</p> <p>          ビーチフラッグスをする。</p> <p>          ライフジャケットを着て海で遊ぶ。</p> <p>          水上バイクに乗船する。</p> <p>          集合写真を撮る。</p> <p>10：00～ 集合する。</p> <p>          終わりの挨拶</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<p>6月から7月にかけて、9回熱田ビーチで遊ぶ計画を立て、毎回ゴミ拾いから始めることで、身近な海を大切にしようという気持ちと愛着がもてるようにした。また、当日までに海辺での経験を重ねることで、安心して取り組むことができ、活動への意欲を高めることができた。普段できないライフジャケットを着て水に浮くことや水上バイクに乗って風やスピードを感じることができる内容にした。</p>		
園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>日頃から熱田ビーチで水の冷たさ・砂の感触・海の香り・風・日差し・カニ等の生き物との出会いを楽しみ、浜田の海に愛着をもっている子ども達が、浜田ライフセービングクラブの方のご指導の下、海に浮く体験や水上バイクに乗船することができ、自然の素晴らしさや面白さをさらに感じる事ができた。この体験後に熱田ビーチ遊びに行った時は、これまでに以上にダイナミックに遊ぶ姿が見られた。</p>		




※事例集として、印刷物やデータで各学校や関係機関に配布する予定です。A4一枚に収めてください。



幼稚園名	浜田市立石見幼稚園	
対象	学び・活動の名称	
全園児	曇ヶ浦で遊ぼう	
めあて・目標	曇ヶ浦の海岸で遊ぶことを通して、海の生き物を知ったり、触れたりし、自然の中で遊ぶ楽しさを味わう。	
関係機関・団体等	しまね海洋館アクアス交流課	
活動の概要（期日、場所等を含む） ※写真を挿入する。		
期 日	令和4年6月21日（火）	
場 所	曇ヶ浦 浜田市国府町	
参加者	園児10名 職員4名 教育実習生1名 見守りボランティア2名	
講 師	アクアス交流課 山口様他2名	
内 容	<p>○曇ヶ浦にて、講師の山口さんから「潮だまりがどうやってできるのか」や「磯の生き物の見つけ方のコツ」を教えていただく。</p> <p>○磯で簡易の箱メガネと網をもって水中観察したり、いろいろな形の貝を背負ったヤドカリや岩陰に隠れるカニ、群れになって泳ぐ小魚など磯の生き物を見つけたり、捕獲したりして楽しむ。</p> <p>○講師の方が捕獲した磯の生き物（タツノオトシゴ、ウミウシ、ヒラメの稚魚など）を見せてもらい、最後に全員で捕獲していた生き物に感謝し、海へ返した。</p>	
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<p>○毎年計画する際には、予想潮位を調べ、活動に適した時期を選ぶようにしている。</p> <p>○アクアス交流課の方に講師をお願いすることで、磯の生き物の生態を園児なりに気づけるように、また生き物の命を大切にすることが育つように取り組んでいる。</p> <p>○一人一人が網や簡易の箱メガネをもって活動できるように必要な数を準備する。</p> <p>○海での活動は危険を伴うため、見守りボランティアを募り、子ども達が水中観察する際の安全面に配慮している。</p>		
園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
<p>海での活動は子ども達に故郷の海の豊かさを知る機会となり、磯の生物観察した後、海へ返す内容は命を大切に思う気持ちに繋がった。</p> <p>例年課題となるのは、天候に左右されやすい活動のため、予想していた潮位が前日の天候によっては高くなるなど、状況判断が難しくなる。地元の方の意見を聞き、状況をよく観察した上で、活動する場の範囲を決定することが必要である。</p> <p>下見を丁寧に行い、安全対策を十分にすること、そして、危険と思われる天候の際は延期や中止の判断を行うことが大切である。</p>		



※事例集として、印刷物やデータで各学校や関係機関に配布する予定です。A4一枚に収めてください。

幼稚園名	浜田市立美川幼稚園	
対象	学び・活動の名称	
全園児	カヌー体験をしよう	
めあて・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海辺の自然に触れ、いろいろな発見をしながら遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・カヌーに乗る楽しさを知ったり、波を感じたりして海で遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	
関係機関・団体等	浜田市三隅B&G海洋センター	
活動の概要（期日、場所等を含む）		※写真を挿入する。
○期 日	令和4年9月14日（水）	
○場 所	浜田市三隅町 田ノ浦海岸	
○活 動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ拾いをする。</li> <li>・ライフジャケットを着る。</li> <li>・海での約束を知る。</li> <li>・準備体操をする。</li> <li>・カヌーに順番に乗る。</li> <li>・海遊びをする。</li> <li>・片付けをして着替える。</li> </ul>	
		
		
海洋教育・自然体験の目的にせまるための活動づくりのポイント（工夫したこと）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・下見をし浜の状態を把握する。また波の高さ水温、海に入る時間や範囲を検討する。</li> <li>・遊ぶ範囲がわかるように目印のコーンを置く。</li> <li>・潮の香りや風、波を身体全体で感じている様子に共感する。</li> <li>・海や波を怖がっている幼児には無理強いせず、楽しめることを探しながら徐々に活動につなげていく。</li> </ul>		
園児に見られた変容、取組の成果や課題等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・海で遊ぶ時のルールや海の環境を守ることの大切さを知った。</li> <li>・波を使って上手に波打ち際に浮かんで流されていくことを楽しむ等、波や海の城を遊びにつなげていた。</li> <li>・潮風を感じたり、海の塩辛さを感じたり五感を使って海に親しむことができた。</li> </ul>		

※事例集として、印刷物やデータで各学校や関係機関に配布する予定です。A4一枚に収めてください。